ミニ気象台観測データ月報

令和 2年 11月

さいたま市青少年宇宙科学館

			具夕	風速		気 温				平均		₩.	平均	
日	曜	天 気	最多風向	最大	平均	9時	最高	最低	平均	湿度	降水量	平均 気圧	地温	記事
_													-1m	1日:山梨県甲府市で初霜を観測。
1	日	$\overline{\mathbb{Q}}$	SSE	6. 6	0.6	12. 7	21. 4	7.8	14. 1	61. 4	0.0	1023. 5	17. 5	4日: 魚象庁が、東京地方で「木枯らし1号」が吹いたと発表。 4日: 北海道で札幌市や旭川市、 阪館市など道内各地で初雪を観測。
2	月	Φ@	N	5. 4	0.5	16.5	19. 0	11.9	15.0	69. 2	1.0	1015. 2	17. 3	5日:栃木県宇都宮市で初霜を観測。 5日:山梨県甲府市で初永を観測。
3	火	0	SE	8. 5	0.8	14. 4	18. 1	13. 2	15.0	82. 1	5. 0	1005.3	17. 2	7日:沖縄県西表島で全国観測史上歴代4位タイとなる最高気温31.2℃を 記録
4	水	Q	N	15. 3	1.9	13.9	18. 7	10. 1	13.9	39. 3	0.0	1012. 4	17. 2	9日:気象庁が、南海トラフ地震関連解説情報を発表。特段の変化は観測されていない。
5	木	0	NNE	5. 7	0.9	12.6	20.0	6.8	13.3	48.9	0.0	1022. 1	17. 1	9日:台風21号(アータウ)が、南シナ海で発生。 9日:台風22号(ヴァムコー)が、フィリピンの東で発生。
6	金	© Ф	NNE	4.7	0.4	12.0	15.0	9.0	12.1	60.1	0.0	1023.0	16. 9	10日:気象庁が、エルニー==監視速報(Na.338)を発表。夏からラニーニャ現象 が続いている。ラニーニャ現象は冬さらには春にかけても続く可能性が高
7	土	\odot	N	3. 3	0.3	13.2	20.6	10.5	15. 1	65. 7	0.0	1013.4	16.7	い。 10日:気象庁が、2021年から「生物季節観測」を6種・9現象に縮小すると
8	目	\odot	W	10.5	0.7	18.3	23.0	13.6	17.8	56.6	0.0	1007. 1	16.6	発表。
9	月	Ф	N	14. 1	2. 2	14.5	18. 1	9.3	14.0	35.0	0.0	1011.2	16. 7	
10	火	0	N	10.4	1.3	11.1	16.6	6.5	11.4	44. 5	0.0	1017.8	16.6	
11	水	0	N	12. 5	1.8	13. 1	15. 9	7.4	11.4	42.4	0.0	1026.5	16. 4	11日:茨城県水戸市で初霜を観測。 11日:栃木県宇都宮市で初氷を観測。
12	木	$\odot \odot$	N	5.8	0.9	7.6	14. 1	5. 5	9.7	57. 6	0.0	1030.8	16. 2	11日:長野市で初雪を観測。 13日:深谷市南部を流れる荒川に、コハクキウが初飛来。 17日:気象庁が、NASAの衛星観測データから2020年の南極オゲンホールの 最大面積は2460万k㎡(南極大陸の約1.8倍)となり、縮小傾向が継続し
13	金	О О	N	5. 4	0.6	11.8	20.0	8. 7	13.6	58. 1	0.0	1023. 0	15. 9	
14	土	0	N	10.5	1. 7	15. 1	21. 2	10.5	15. 1	47.5	0.0	1023.8	15.8	ていると発表。 17日:日本海に中心をもつ優勢な高気圧の影響で全国的に気温が上
15	目	Ŏ	N	8. 9	0.8	10.6	20.0	6.5	12.8	55. 2	0.0	1026.7	15. 7	昇。熊本県八代市で最高気温26.0℃を記録するなど、九州で夏日となった地点が続出。
16	月	Ŏ	N	6. 5	0.5	12.5	22. 5	8. 1	14.8	56.8	0.0	1021. 2	15. 7	- 18日:前日に引き続き全国的に気温が上昇。熊本県八代市で最高気温 27.2℃を記録するなど、西日本の日本海側や北陸で顕著な高温となっ
17	火	Ö	ESE	6. 3	1.3	16.0	21.5	10.4	15. 1	57. 0	0.0	1025.6	15. 6	た地点が続出。 19日:11月後半としては記録的な高温となり、全国的に夏日となる地点 ※徐思・大人間を発力で見るなどのような大力である。
18	水	Ŏ	N	7. 2	0.6	13.4	22. 0	9. 2	15. 1	68. 9	0.0	1023. 4	15. 6	が続出。大分県杵築市で最高気温28.3℃、さいたま市で25.0℃、当館では25.4℃を記録。当館の記録では観測開始以降で最も遅かった夏日2004年(平成16年)12月5日に次ぐ遅い夏日。
19	木	OΦ	SSW	15. 5	2. 3	15. 1	25. 4	12.0	18.7	66. 1	0.0	1016.3	15. 7	日2004年(干)以10年/12月3日に次く注7、安日。
20	金	ÖΦ	SW	14. 5	2.8	19.8	24. 1	16.6	21.2	67. 0	0.0	1005. 4	15. 8	
21	土	Ô	N	15. 3	2. 7	17.2	18. 9	10.7	16. 2	41.2	0.0	1013. 0	16. 1	22日:茨城県沖を震源とする地震発生。M5.7、茨城県東海村で震度5 弱、さいたま市では浦和区などで震度3。
22	目	Ŏ	N	16. 0	1. 3	9. 9	20. 9	6. 7	13. 4	57. 2	0.0	1016. 9	16. 3	23日:気象庁が、世界保健機構WHO)の温室効果がス世界資料センター (WDCGG)年報から、2019年の大気中の主要温室効果がス(二酸化炭
23	月	OOO	N	13. 9	1.5	16. 3	19. 4	10.6	14.8	46. 0	0.0	1012. 0	16. 3	素、メタン、一酸化二窒素)の世界平均濃度が、いずれも観測史上最高 を更新したと発表。
24	火	Ö	N	10.6	1. 7	10.9	13. 2	9.6	11.3	52. 1	0.0	1022. 3	16. 2	25日:気象庁が、12月から楽年2月までの3か月予報を発表。ラーー・スタの影響で日本海側で修雪量が平年並みか多くなる見通し。また、気温は全国的に平年並みで北日本では平年並みか高くなる見通し。 25日次城県南部を養譲とする地震発生、M4.3、茨城県笠間市やさいた主市浦和区などで震度3。 25日:熊谷地方気象台が、熊谷市のイラウ黄葉日を発表。 26日:熊谷地方気象台が、熊谷市のイラウ黄葉日を発表。 27日:気象庁が、東京都心のイラウ黄葉日を発表。
25	水	• 0	N	6. 2	1.0	9. 2	12.7	8. 7	10.3	88. 1	3. 5	1020.8	16. 1	
26	木	00	N	4. 9	0. 5	11.0	18. 7	7. 2	12.0	72. 3	0.0	1018. 9	16. 0	
27	金	ΦŎ	NNE	6. 3	1. 5	11.6	14. 0	10. 2	11.5	68. 8	0.0	1017. 6	15. 8	
28	土	$\tilde{\mathcal{C}}$	N	14. 3	2. 9	14. 2	16. 3	8. 2	11.3	51. 1	0. 0	1011. 5	15. 7	30日:熊谷市で初霜を観測。平年より13日遅く、昨年より1日遅い。 30日:関東、東海、四国地方など各地の空で、めずらしい「穴あき雲」が
29	日	00	ESE	6. 9	0. 9	9.8	13. 5	6. 5	9. 7	49. 9	0. 0	1019. 8	15. 6	出現。
30	月	ÖĎ	N	4. 3	0. 5	7. 0	15. 5	3, 5	9. 1	63. 2	0. 0	1021.6	15. 4	
月	間	<u></u> /	N	16. 0	/	/	25. 4	3. 5	/	/	9. 5	/	/	
平	均	/	/	9. 2	1. 2	13. 0	18. 7	9. 2	13.6	57. 6	/	1018. 3	16. 3	11月 8日 立冬 太陽黄経225° 冬の気配が感
昨年の同月の									10.0	01.0		1010.0		じられる
平均との差			/	/	0.2	0.7	0. 9	0.5	0.8	-4.6	-123. 5	1. 1	-0.1	11月22日 小雪 太陽黄経240° 寒くなって雨が雪になる
開館	開館以来の同月の			,	0.5	1.0	1 /	1 1	1./	7.0	71.0	1.0	0.0	·
平均との差			/	/	-0.5	1.3	1. 4	1. 1	1.4	-7. 6	-71. 3	1. 0	0.0	

曇: 🔘 雷雨: → 雨: 雪: 🛞

・ (単位) 風速 (m/sec)、気温(℃)、降水量(mm)、湿度(%)、気圧(hPa)、地温(℃)

みぞれ:🌥 にわか雨: ●= 霧: ● 霧雨: ●+ 雨強: ●ッ

説明 : 「天気」は、主に朝から夕方までの空もようです。

「月間」欄には、当月における最も多かった風向き、最大風力、最高気温、最低気温、積算の降水量を記載しています。

「平均」欄には、当月における観測値の平均を記載しています。

「最高気温」「最低気温」は、日最高気温、日最低気温です(日界は0時)。

「開館以来」とは、平成元年6月以来のことです。 「猛暑日」「真夏日」「夏日」とは、それぞれ一日の最高気温が35℃以上、30℃以上、25℃以上の日のことを言います。 「真冬日」「冬日」とは、それぞれ一日の最高気温が0℃未満、最低気温が0℃未満の日のことを言います。